

⑦検体送付について

当院の病理担当から連絡がありましたら、病理検体を福山市民病院 医事課 がんゲノム医療事務局宛に**フレモノ扱い・簡易書留で郵送**してください

宛名書きは以下を切り取ってご使用ください

* 送付いただくもの *

プレパラート(指定したブロックから1症例につき10 μ mの厚さで10枚、病理診断確認用に4 μ mで5枚)または、ホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)標本

【⑧検体情報チェックリスト】

病理検体貸出表(紹介元規定のものがあればお願いします)

以上の3点を同封してお送りください

<注意事項>

- 1、なるべく新しい検体が推奨されております。古い検体(5年以上経過)は核酸の状態が悪く、検査ができない可能性が高くなります。
- 2、原発巣より転移巣、症状の進行に影響を与える病巣がDNA抽出に適しております。
- 3、検査会社による検体のクオリティチェックが終了するまで、検体をお預かりさせていただきます。(およそ1カ月程度)

<参考資料>

日本病理学会「ゲノム診療用病理組織検体取扱規程」

http://pathology.or.jp/genome_med/pdf/textbook.pdf

〒721-8511

簡易書留

広島県福山市蔵王町5-23-1

福山市民病院 医事課

がんゲノム医療事務局 宛

フレモノ注意

「がんゲノム医療外来書類・検体在中」

【郵送先及び連絡先】

〒721-8511

広島県福山市蔵王町5-23-1

福山市民病院 医事課

がんゲノム医療事務局

TEL:084-941-5151